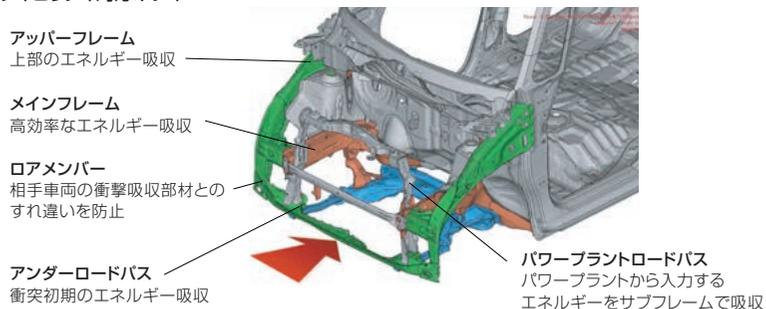


人にも環境にもやさしい 高水準の安全性能・環境性能。

リアルワールドでの安全を見据えた衝突安全性能

リアルワールドでの衝突安全を見据えたHonda独自のGコントロール技術により、「自己保護性能の向上」と「相手車両への攻撃性低減」を両立するコンパティビリティ対応ボディ。Nシリーズでは、新設計エンジンと新荷重分散構造を採用することで、従来軽自動車に対し70mmも短いエンジンルームでコンパティビリティ対応ボディを完成させました。これに加え側面衝突時の荷重を受け止めるシートロードパスや、後面衝突時の荷重を効果的に受け止めるストレートリアフレームなどにより、全方位で優れた衝突安全性能を実現しています。

■コンパティビリティ対応ボディ



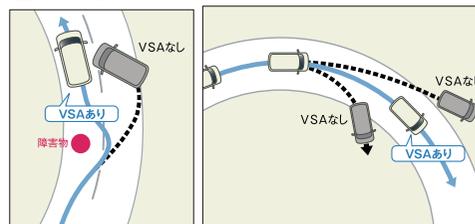
頭部や脚部などに対する衝撃吸収構造を採用した、歩行者傷害軽減ボディ

万一の際、歩行者にダメージを与えやすいボディ前部に衝撃をやわらげる構造を採用。ボンネットヒンジ部、フロントウィンドウ支持部、ワイパー、ボンネット、バンパー、フェンダーを、衝撃吸収構造としています。

VSA（車両挙動安定化制御システム）と HSA（ヒルスタートアシスト機能）を全タイプに標準装備

横すべりなどクルマの急激な挙動変化を抑えるVSAと、坂道発進時の後退を抑制するHSAを、全タイプに標準装備しました。VSAは、2011年11月1日に施行された新基準ESC法規に適合しており、2014年10月1日から施行される装着義務についても先行して適用しています。

■VSA作動イメージ図



ブレーキ時の車輪ロックを防ぐABS、加速時などの車輪空転を防ぐTCS、旋回時の横すべり抑制、3つの機能をトータルにコントロールすることでクルマの急激な姿勢変化を抑え、安定した走りをアシストします。

■作動シーン例

- ・急ハンドルでリアがすべり出した時
- ・カーブで曲がりきれなくなりそうな時
- ・すべりやすい坂道の発進でスリップした時
- ・カーブで思わず急ブレーキをかけた時

その他の安全装備

- 運転席用・助手席用 SRS エアバッグシステム
〈連続容量変化タイプ〉&助手席用 SRS エアバッグシステム
- EBD（電子制御制動力配分システム）付 ABS
- 頸部衝撃緩和とフロントシート
- ピタ駐ミラー（サイドビューサポートミラー、広角ドアミラー、後方視角支援ミラー）
- フロント3点式ロードリミッター付
プリテンショナー ELR シートベルト
- リア3点式 ELR シートベルト
- 汎用型 ISOFIX チャイルドシートロアアンカレッジ
（リア左右席）+トップテザーアンカレッジ（リア左右席）

■HSA作動イメージ図



坂道発進時、ペダルを踏み換える瞬間のクルマの後退を抑制（約1秒間）。

- 運転席 / 助手席シートベルト締め忘れ警告ブザー&警告灯（シートベルトリマインダー付）
- ディスプレイヘッドライト〈HID〉（オートレベリング / オートライトコントロール機構付）（タイプ別設定）
- ハイマウント・ストップランプ
- 熱線式リアウインドウデフォグガー
- サイドデフロスター
- チャイルドブルーフ
- 室内難燃材

など

全タイプで優れた環境性能を達成

全タイプ、国土交通省「平成17年排出ガス基準 75%低減レベル」認定を取得。



「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定車表示マーク
平成17年排出ガス規制のNMHC、NOxについて、基準値を75%以上下回る優秀な環境性能を達成した車両に与えられます。

「平成27年度燃費基準」を達成。



G (FF)
G-Lパッケージ (FF)

「平成27年度燃費基準達成車」表示マーク
平成27年度燃費基準を上回る優れた燃費性能を達成した車両に与えられます。

クルマ全体でリサイクル可能率 90%以上* を実現。

*（新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年、自工会)に基づき算出）

リサイクル材の使用を推進。

日本自動車工業会の定める環境負荷4物質
自主削減目標を達成。

鉛:2006年1月以降1996年レベルの1/10以下に削減
水銀:2005年1月以降使用全廃
六価クロム:2008年1月以降使用全廃
カドミウム:2007年1月以降使用全廃